

上三川ごぼれ話 第23話 「上神主廃寺」

「廃寺」とは、廃止された寺院のことです。今回取り上げる「上神主廃寺」は、上神主の浅間神社のすぐ北側にあったとされます。下野薬師寺跡から出土する瓦とよく似た瓦がたくさん拾えることから、奈良時代の寺院跡として町の史跡に指定されています。

上神主廃寺は、古くから人名を刻んだ瓦が拾えることが広く知られており、全国の考古学研究者の注目する遺跡でした。平成7年、長らく謎に包まれていた廃寺跡の実態を解明する調査に着手したところ、大型の掘立柱建物跡とともにたくさん文字瓦が出土しました。

丁度同じ頃、廃寺跡から北に200mのところまで北関東自動車道の建設も進んでいました。工事に先立つ発掘調査では掘立柱建物跡などが見つかり、廃寺跡との関連性が指摘されました。さらに、道路建設予定地のすぐ南側の区画でも、「」の字状に配置された掘立柱建物跡が見つかりました。

調査の結果、「」の字状の建物は政務を執り行う「政庁」、瓦の葺かれた建物は税として集めた米などを収める倉庫である「正倉」の中心建物と分かりました。このことから、「」は廃寺ではなく官衙(古代の役所)であり、範囲も宇都宮市茂原まで広がっていることから、新たに「上神主・茂原官衙遺跡」と名付けられました。

遺跡は、平成15年に国の史跡に指定され、出土した文字瓦は今年、国の重要文化財に指定される予定です。

人々が守り繋いだ遺跡、この先の未来にも残していきたいですね。



遺跡の配置図

▼問い合わせ先⇨生涯学習課 文化係 ☎3510

消費生活センターにご相談ください 消費豆知識 133

車を売る際は要注意！中古車の売却トラブル

事例1

1年ほど前に購入した中古車を売却するために、買取業者何社かに見積もりを依頼した。一番高い査定金額を提示した事業者と契約し、車を引き渡した。代金が振り込まれるのを待っていたが「オークションの査定で事故車と判断されたため、買取金額を下げた」と連絡があった。購入時に事故歴はないと聞いており、自分も事故は起こしていない。契約した金額で買い取ってほしい。

事例2

中古車を売却するため、一括査定サイトに登録し、一番高額な査定をした業者に5万円で売却すると答えた。後日、契約書面式が送られてきたが、キャンセルを申し出るや「キャンセル料3万円を払ってもらう」と言われた。送付された書類にキャンセル料の記載はなく、届いた契約書はまだ提出していないので契約成立前ではないか。納得できない。

●買取業者は査定のフロントとしての注意を払って買取金額を算出しています。その査定額で契約した後に、修復歴や事故歴を見落とした等の理由で、買取業者から減額や解約を求められた場合でも応じる必要はありません。ただし、売却する車に修復歴や事故歴があると知っていた場合には、必ず査定時に買取業者へ申告しましょう。

●車の売却は特定商取引法におけるクーリング・オフの対象外です。一度契約をすると、原則として契約書の内容に拘束されます。契約締結前につきり内容を確認しましょう。

●キャンセル料に関しては、金額とともに、どの時点から発生するのか等についても理解したうえで契約することが重要です。契約書にないキャンセル料を請求された場合、契約内容に従った対応を要求することができます。

※車取引の事業者団体である一般社団法人日本自動車購入協会では、「売却する車を買取業者へ引き渡した翌日まではキャンセル料を払つことなく解約できる」等の内容を含むガイドライン(モデル約款)を作成しています。

▼相談日時⇨月々金曜日(祝日・年末年始を除く)

午前9時～正午、午後1時～4時

▼相談場所⇨上三川町消費生活センター(役場1階 地域生活課内)

▼相談専用電話⇨☎9153

まずは、お電話を。消費者ホットライン188でもつながります。

